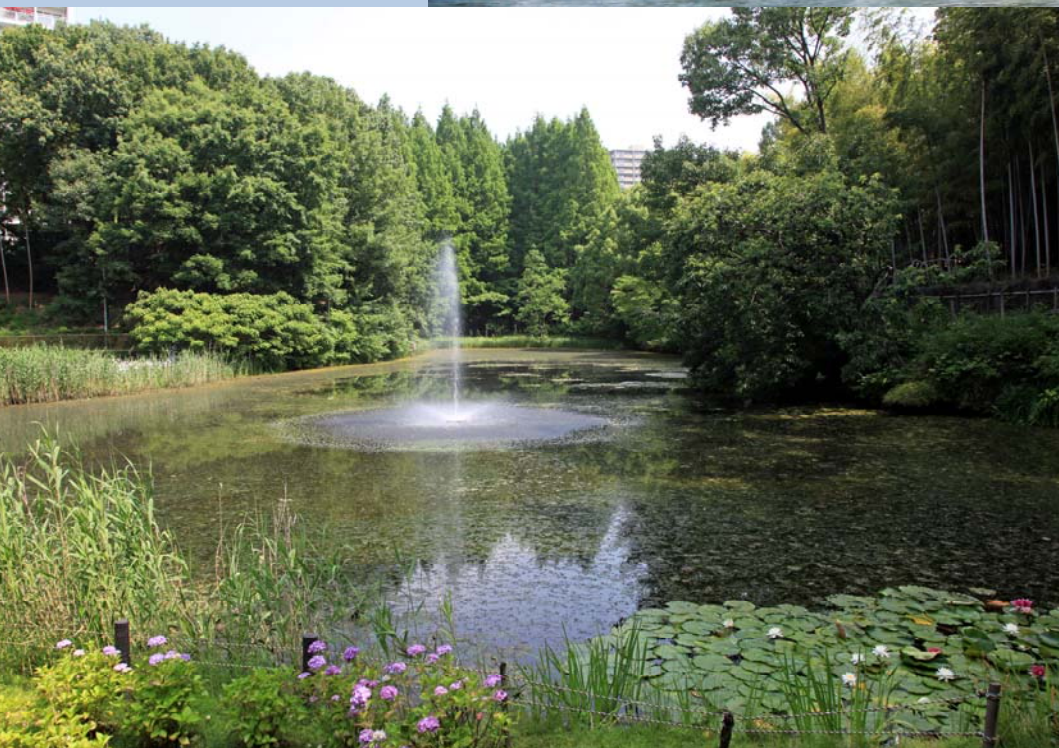




千里ニュータウン

—半世紀の軌跡とその今日—



2010.03

佐藤 健正

はじめに

わが国のニュータウン第1号である千里ニュータウンは、初期まち開き（1962年）からまもなく半世紀を迎えようとしている。今日では様々な面でオールドタウン化に伴う問題が顕在化し、一方では建設当時とはまったく様変わりした新しい時代を迎えて、21世紀に持続可能な都市への再生が求められている。

このような状況を受けて、2001年、ニュータウンの運営に係わる関係主体によって千里ニュータウン再生連絡協議会が設置され、2007年10月には「千里ニュータウン再生指針」がとりまとめられるなど、ニュータウン再生に向けての本格的な取り組みが開始された。いま千里ニュータウンでは、千里中央地区（タウンセンター）再整備事業がすすみ、また大阪府営住宅民活プロジェクト（PFI事業）、大阪府住宅供給公社建替・民活事業、分譲マンション建替事業等の団地再生プロジェクトも急速に進展するなど、ニュータウンはその姿を一変させようとしている。

この「千里ニュータウン：半世紀の軌跡とその今日」シリーズでは、わが国の都市計画とハウジングの歴史における記念碑的存在である千里ニュータウンを取りあげ、その計画・建設から今日まで、半世紀の軌跡を振り返り、ニュータウン再生の現状を検証することとしたい。

注）本稿は、2009年10月16日に開催した集合住宅研究会第299回研究会でのレクチャー、「千里ニュータウン：その建設から今日まで」で用いたテキストに追加、修正を加えたものである

もくじ

はじめに

千里ニュータウン：半世紀の軌跡とその今日（要旨）

1. 千里ニュータウンの計画と建設	1
2. 千里ニュータウンのハウジング	15
3. ニュータウンの変容と都市再生への課題	33
4. 近年のニュータウン再生の動向	45
おわりに	64

